

研究課題名	<p>2017-021</p> <p>急性期経腸栄養投与患者における経腸栄養剤性状と下痢改善との関係</p>
実施責任者	<p>名古屋掖済会病院 集中治療室 主任看護師 立松美和</p>
研究の概要	<p>集中治療室での栄養管理のため、経腸栄養剤が用いられることが多いですが、しばしば下痢が起こるため栄養状態の改善に支障をきたします。</p> <p>当院では下痢の予防のために、投与速度を遅くする方法と経腸栄養剤を半固形化して投与する方法を用いていますが、どの方法が最も効果的かは分かっていません。</p> <p>当院集中治療室における下痢の関連因子と経腸栄養剤の性状と下痢の改善との関係について、電子カルテシステムから情報を集めて調査します。</p>
実施の期間	<p>2013年 4月 1日 より</p> <p>2016年 10月 31日 まで</p>
研究対象	<p>上記の期間に当院集中治療室にて、胃管チューブから経管栄養剤を投与されました患者様が対象になります。</p>